

資 料 3

～ 産業連携事例について ～

1 各県における産業連携事例

《徳島県》 松茂町 企業誘致	P1
《香川県》 番の州工業団地 企業立地の促進と産業基盤の強化	P2
《兵庫県》 洲本市の企業用地(誘致推進)	P3
《徳島県》 徳島小松島港 津田地区活性化整備事業	P4
《愛媛県》 田窪工業団地 企業誘致	P5
《高知県》 (仮称)南国日章工業団地 企業誘致	P6

2 物流機能の強化事例

《NEXCO西日本》 SA・PAの大型車駐車マスの拡充	P7
《四国地整》 四国8の字ネットワークの整備	P8
《中国地整》 高規格幹線道路網の整備	P9

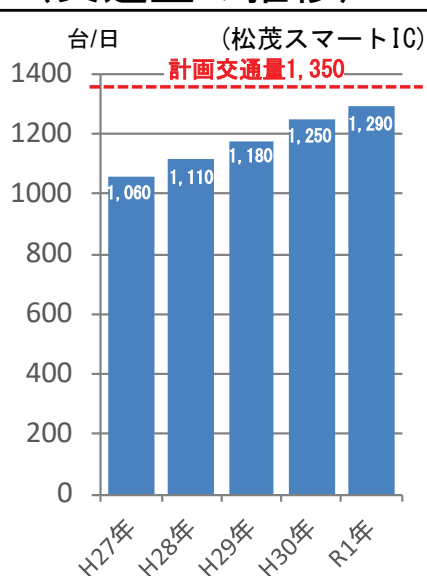
〈位置図〉



〈誘致効果〉



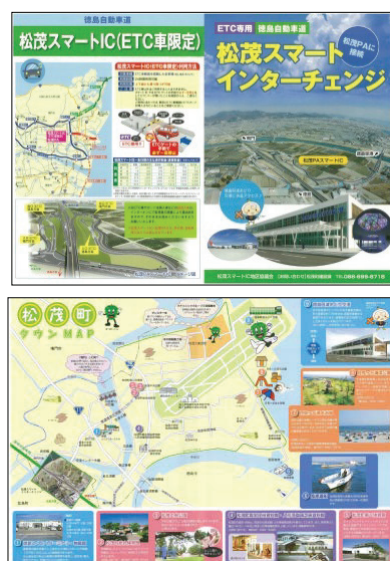
〈交通量の推移〉



【出典：NEXCO西日本】

〈利用促進策〉

松茂スマートICパンフレット配布 (H28.3)



県内100人以上採用
トヨタ・パナ出資会社松茂工場
社長意向

松茂にHV電池生産拠点
新ライン22年稼働

＜令和2年10月7日朝刊 徳島新聞＞

＜令和2年11月13日朝刊 徳島新聞＞

誘致効果（香川県）

【企業立地の促進と産業基盤の強化】

1 番の州臨海工業団地の分譲（令和2年度）

【企業立地の概要】

番の州臨海工業団地の残る約17haの未分譲地に、3社による生産・物流拠点施設の立地が決定。これまでの総分譲面積は約505haで、企業数は大型工場や流通関係企業等あわせて42社。

【立地計画の概要】

① ショーワグローブ(株)（本社：兵庫県姫路市） 分譲面積：約9.7ha

サプライチェーンのための医療用等のニトリルゴム製手袋の新規生産拠点施設を国内で初めて、産業インフラが整備され、坂出北ICにも近い当該団地に整備

② (株)ハローズ（本社：広島県福山市） 分譲面積：約4.6ha

四国エリア内での店舗網を拡大するため、フルインター化される坂出北ICに近く交通の利便性の良い当該団地に四国物流センターを設置

③ 竜王金属(株)（本社：香川県丸亀市） 分譲面積：約2.0ha

現工場を移転・拡張し、顧客の拡大等を図るため、グループ会社から近い距離で、坂出北ICに近いなど交通の利便性の良い番の州に板金溶接加工工場を整備

【位置図】



2 誘致効果（経済波及効果等）

【投資・雇用面】 立地する3社の投資効果として、土地代に建物・機械設備費等を加えた総投資額が約136億円になり、3社による設備増設後も含めた雇用計画では、新たに約460人の雇用が創出される見込み。

【産業インフラ面】 これら拠点整備に伴い、工業用水や電気、ガスなどのインフラ面における大きな需要が見込まれ、3社で年間27億円超の使用量が見込まれる。

【本四間の交流】 県外に本社を置くショーワグローブ(株)（兵庫県）と(株)ハローズ（広島県）の生産・物流拠点施設が整備されることにより、本州・四国間での物流が活発化することが期待される。²

誘致効果（兵庫県）【洲本市の企業用地（誘致推進）】

1. 誘致施策

【兵庫県：H14.4月から】

① 補助金

→ 設備投資、雇用

② 税軽減

→ 不動産取得税、法人事業税

【洲本市：H23.4月から】

① 企業誘致奨励金

→ 固定資産税相当額を5年間

② 雇用促進奨励金

→ 新規雇用（市民）1人につき30万円

③ 事業所施設設置奨励金

→ 床面積（1,000㎡を超える分）1㎡につき1万円

④ 高速道路渡橋料金補助（R3.1月から）

→ 1の年度につき60万円

2. 誘致効果

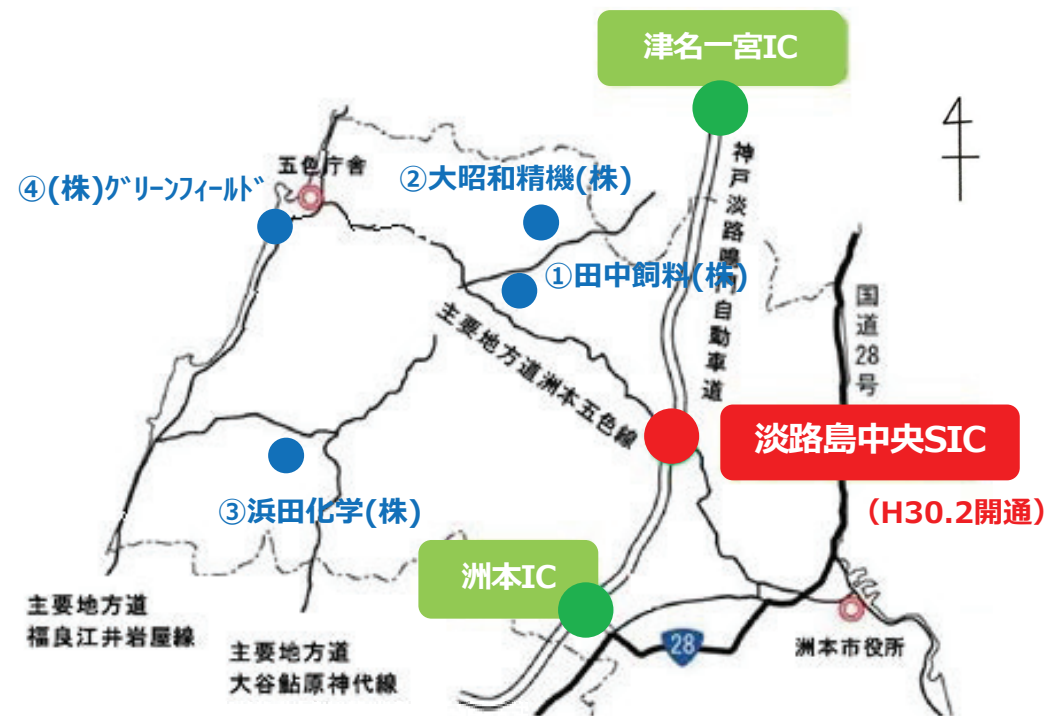
淡路島中央SIC整備決定(H25.6月)後に立地した企業

企業名	所在地	業務内容
① 田中飼料(株)(本社 京都市) (R3.1開業)	洲本市五色町 鮎原南谷	飼料化リサイクル
② 大昭和精機(株)(本社 東大阪市) (H28.10開業)	洲本市五色町 鮎原中邑	工具保持具、精密測定機器の開発、製造
③ 浜田化学(株)(本社 尼崎市) (R1.12開業)	洲本市五色町 下堺	食品加工、バイオディーゼル燃料製造
④ (株)グリーンフィールド(本社 大阪市) (R1.12一部開業)	洲本市五色町 都志万歳	会員制リゾートホテル

■ 淡路島中央SIC利用によるストック効果

洲本市では、生産用機械器具製造工場が多く立地しており、製造品の多くは神戸淡路鳴門自動車道を経て国内へ出荷されている。

平成26年に新料金となり、平成25年に淡路島中央SICの整備が決まった結果、洲本市西部では、工具保持具の開発・製造で国内50%を超えるシェアを占める大昭和精機(株)などの企業の進出が進んでおり、SIC整備によるストック効果が現れている。



■ 本四間の物流・交流について

淡路島中央SICの整備により

物流：洲本市の企業誘致の取り組みや淡路島中央SICの整備をきっかけとして、製造拠点が建設され、本四高速利用による物流の増加

観光面：会員制リゾートホテルの建設や市内全域のアクセス性向上などにより、本四高速利用による観光人口の増加

1. 誘致施策

■ハード整備

【事業名】

徳島小松島港 津田地区活性化整備事業

【概要】

徳島南部自動車道及び徳島津田 I C の整備により、「陸・海・空の結節点」となる津田地区において、遊休化していた水面貯木場を埋め立て、新たな企業用地(約11ha)を造成

■施策・制度

【徳島県】

①補助金

②雇用奨励金(新規地元雇用)一人40万円

【徳島市】

①固定資産税・都市計画税の免除(3年間)

②雇用奨励金(新規地元雇用)一人40万円



2. 誘致効果

南海トラフ巨大地震を迎え撃つ命の道となる徳島南部自動車道の徳島津田 I C に隣接し、周辺地盤より約 2 m 高く造成した安全安心な企業用地として、

- ・「徳島沖洲・徳島津田間」の開通により機運が高まる

「令和 3 年春」に「分譲手続き」

- ・「徳島 J C T ・徳島沖洲間」が開通し、全国の高速道路ネットワークに直結する「令和 4 年春」に「企業用地の引渡し」

を開始予定であり、産業・流通の拠点として大きな経済効果や新たな雇用の創出が期待できる。



■本四間の交流人口について

平成 2 8 年に策定した「徳島小松島港津田地区活性化計画」を実現する第一歩として、津田地区を企業が集積する「産業拠点」へと再生するとともに、今後、新たな賑わいを生む交流拠点が立地する「複合型先進拠点」へとさらなる発展を遂げることができるよう段階的な事業展開を図ることにより、交流人口のより一層の拡大に寄与する。

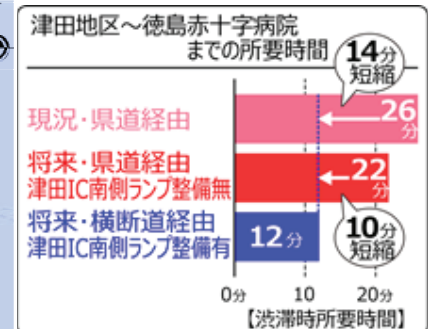
■四国横断自動車道(徳島南部自動車道)の整備促進及び徳島津田 I C のフルインターチェンジ化によるストック効果

○県南地域や京阪神へのアクセス性向上による

- ・県外企業の新たな立地、企業間取引拡大・交流促進
- ・県内企業の集積、物流機能の強化・効率化

○安全安心な企業用地の確保による、地域防災力の向上

○救急搬送の定時制確保による、救命率の向上



徳島市から徳島赤十字病院(小松島市)への搬送

1. 誘致施策

【東温市】

恵まれた立地・交通条件を活かし、地域経済活性化の発展を支援

- ・企業的高速道路へのアクセス向上
（（仮称）東温スマートICの整備支援）
- ・雇用創出奨励金支給事業



2. 誘致効果

分譲区画 : 7区画

（約6万m²、R3年度秋頃造成工事概成予定）

募集開始 : 平成31年 4月 1日

決定(完売): 令和 2年 1月30日

◆田窪工業団地～高速IC間の所要時間

未整備（川内ICまで）

9分

整備あり（東温スマートICまで）

0分

9分
短縮！



1. 誘致施策

【事業名】（仮称）南国日章工業団地整備事業

【概要】

- ・所在地：高知県南国市物部・田村・立田
- ・開発面積：16.1ha(予定)
- ・分譲面積：11.5ha(予定)
- ・区画数：6区画(予定)
- ・対象業種：製造業、流通業(予定)



2. 誘致効果

- ・推定新規従業員数：約300名
- ・製造品出荷額等：年間約79億円
- ・経済波及効果：約114億円

※高知県統計分析課：県経済波及効果簡易分析ツール（平成23年表バージョン）にて算出。

※ただし、事業着手前に算出した推計値。

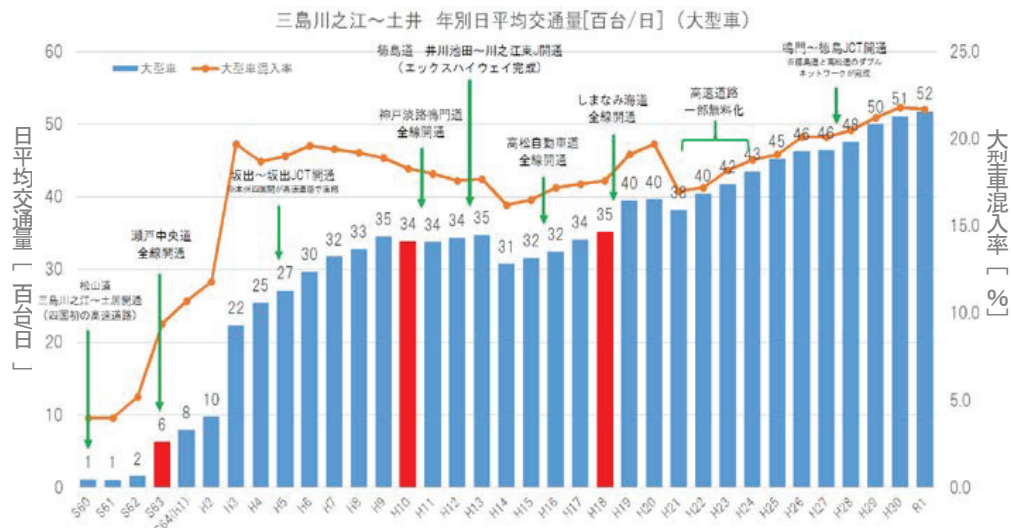
■本四間の交流人口について

高知東部自動車道 高知龍馬空港ICの近隣に工業団地を整備中。製造業や流通業等を対象に分譲される予定のため、四国8の字ネットワーク及び本四高速を活用した事業運営が見込まれており、稼働後は本四間の交流人口の増加が期待される。

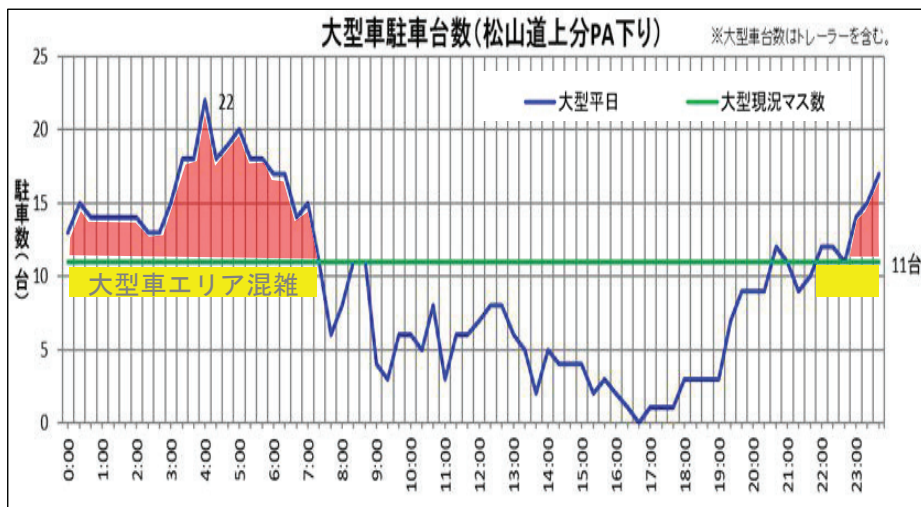


- 四国内の高速道路の一部休憩施設で、平日夜間を中心に大型車駐車エリアの混雑が顕在化。
- 2015年度より駐車マス混雑への対応として、既存休憩施設の駐車エリアを有効活用した、駐車マスの拡充を実施中。
- 引き続き大型車利用割合が高く、混雑しているエリアの整備を優先的に進める。

◆瀬戸中央自動車道開通及び8の字ネットワーク等の整備により、**大型車の交通量がS63年から約9倍に増加！**



◆一部休憩施設の大型車エリアにおいて、夜間22時以降から朝7時までの間で混雑が顕著

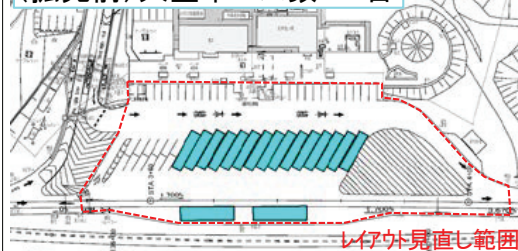


◆2015年度より10エリア(上下線別)で駐車マスを拡充
四国エリアの休憩施設の**大型車マス全数582台が610台に増加！**



＜府中湖SA(上り)駐車マス拡充事例＞

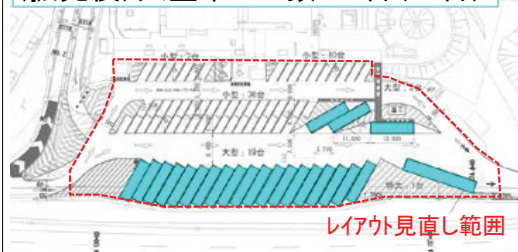
(拡充前)大型車マス数:17台



(拡充前)駐車状況



(拡充後)大型車マス数:23台(+6台)



(拡充後)駐車状況



四国8の字ネットワークの整備

四国8の字ネットワーク

「命の道」、四国8の字ネットワークの早期完成を目指して

四国8の字ネットワークとは？

四国四県を結ぶ将来の高速交通ネットワークの愛称
目指す道路ネットワークの形が「8の字」であることから名付けられた

四国8の字ネットワークの整備目的

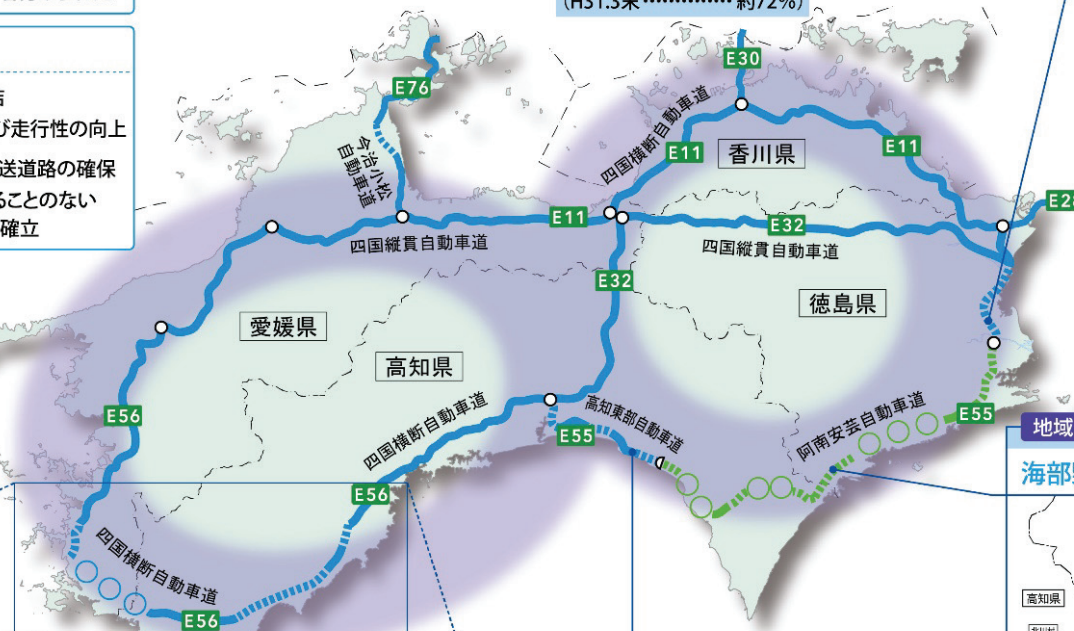
- 速達性**
 - 地方の中心都市を効率的に連結
 - 救急医療施設へのアクセス性及び走行性の向上
- 安全性**
 - 南海トラフ地震発生時の緊急輸送道路の確保
 - 豪雨・洪水時においても寸断することのない安心・安全な道路ネットワークの確立

四国8の字ネットワーク未整備区間の課題

- 四国の主要都市間の時間距離差が発生
- 高次医療施設は、県庁所在地等都市部の施設に依存せざるを得ない状況
- 南海トラフ地震による津波浸水区間が集中
- 災害発生時の道路寸断の可能性が高く、代替路がない

8の字ネットワークの整備状況

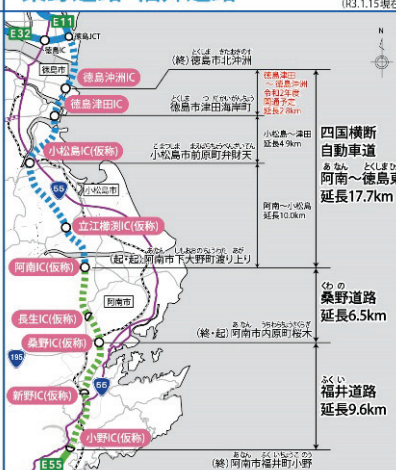
計画予定延長……約810km
R2.7末……………約73%
(H31.3末……………約72%)



高規格・地域高規格

事業中

四国横断自動車道(阿南～徳島東) 桑野道路・福井道路



地域高規格

事業中

海部野根道路・野根安倉道路



高規格

事業中

窪川佐賀道路・佐賀大方道路・大方四万十道路・中村宿毛道路・津島道路



高規格・地域高規格

事業中

高知南国道路・南国安芸道路・ 南国安芸道路(芸西西～安芸西)・安芸道路



凡 例	
——	高規格幹線道路
●	事業箇所
○	調査中区間
——	地域高規格道路
●	事業箇所
○	調査中区間
E11	路線番号 (高速道路ナンバリング)

中国地方整備局 高規格幹線道路網図

〔中国地方整備局 高規格幹線道路網図〕

